※令和４年度以降入学生用

学校番号	3032

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校　「公共」　私たちがひらく未来･社会　（清水書院）						
副教材等	テオーリア　最新倫理資料集　（第一学習社） 最新政治・経済資料集　新版　（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

●日常の中で常識にとらわれていると、一つの考えにとらわれて、行き詰まってしまうことがある。先人の生き方・考え方を学ぶ中で、多様な価値観を知り、異なる価値観を認めながら自分の生き方、共通理解できる価値や基準を考える力を養う。
●２１世紀をよりよい社会にするために、政治・経済の基本的知識を学び、現代の社会において何が課題となっているかを発見し、それらの諸課題に対して宇宙・地球規模での広い視野に立って考える力を養う。

２　学習の到達目標

●人間と社会についての見方・考え方を働かせる。
●現代の諸課題を追求したり解決したりする活動を行う。
●広い視野にたち、グローバル化する国際社会において主体的に生きる平和で民主的な社会の形成者として必要な資質・能力を育成する。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	●現代の諸課題を捉え考察し、選択･判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。 ●諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	●現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力がある。	●よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする。 ●多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚、社会を担う者として各人が協力し合うことの大切さの自覚などを深めている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期前半	第1章　2　青年期の心理	・人間の特質 ・青年期の発達課題 ・青年期の心身の特徴 ・欲求と防衛機制 ・生きることの意味	a：人間のいろいろな定義や、青年の発達課題などを理解し、その知識を身に付けている。 b：人間論、青年論を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c：人間とは、青年とは何かという問を意欲的に考察し、関心を高めようとしている。	定期考査	定期考査 観察	観察 課題レポート
	民主政治の原理・人権の尊重と日本国憲法	①近代国家と立憲主義 ②日本国憲法の成立 ①日本国憲法の三原理と人権保障 ②平和主義と国際社会 ③平等権 ④自由権 ⑤社会権 ⑥参政権の保障と国務請求権 ⑦新しい人権 ⑧グローバル化と国際人権	a:人権保障のために、日本国憲法はどのような規定を設けているかを理解している。憲法が基本的人権と統治機構の二つの部分からなり、両者の関係は「目的」と「手段」であることを理解している。 b：日本国憲法下での基本的人権の意義について、幅広い視点から考察している。国際情勢の変化に伴う新しい人権のあり方について、社会の形成者としての観点から考察している。 c：国民主権の意義を理解し、社会のあり方を自ら決定するため意欲的に考察し、関心を高めようとしている。基本的人権にかかわるニュースや、国会で話題になっていることなどについて関心を持っている。	定期考査	定期考査 観察	観察 課題レポート
前期後半	第1章　3、4　ギリシア思想　一神教の教	・ギリシア哲学 ・キリスト教の成立と発展 ・イスラーム	a：多様な思想家の思想の違い、哲学と宗教の人間観の違いを理解し、その知識を身に付けている。 b：「ソクラテスの言葉」から自分にとっての「善く生きること」を考え文章にする。 c：西洋の根源となる二つの思想を学び、自分にとってどのような意味を持つのかについて関心を高めようとしている。	定期考査	定期考査 観察 課題レポート	課題レポート

※令和４年度以降入学生用

	民主政治の成立と課題 ・ 日本の政治機構	①自由民主主義の成立と危機 ②現代の自由民主主義と課題 ③世論の形成と民主社会 ④政治参加と主権者（有権者） ⑤選挙と政党 ①国会の役割としくみ ②内閣と行政機関 ③裁判所の役割としくみ ④市民生活と司法参加 ⑤地方自治と住民の生活	a: 市民革命以降、基本的人権が確立するまでの歴史的背景を理解している。憲法が基本的人権と統治機構の二つの部分からなり、両者の関係は「目的」と「手段」であることを理解している。 b: 日本国憲法下での立法、行政、司法、地方自治のあり方について、幅広い視点から考察している。国際情勢の変化に伴う日本の安全保障問題や、新しい法律の制定について、立憲主義の視点から考察している。 c: 国民主権の意義を理解し、社会のあり方を自ら決定するため意欲的に考察し、関心を高めようとしている。基本的人権にかかわるニュースや、国会で話題になっていることなどについて関心を持っている。	定期考査	定期考査 観察	観察 課題レポート
後期前半	第1章　5、6　東洋の宗教と思想	・仏教の成立と発展 ・中国の思想	a: ゴータマが説いた縁起や四諦の内容や、中国の人々の自然観・人生観を理解し、その知識を身に付けている。 b: 西洋と東洋の源流にある思想を比較して，人間の生き方について説いている内容の共通点と相違点を調べ，発表できる。 c: 日本に最もなじみの深い宗教である仏教の教えを知り，仏教思想の現代的な意義はどこにあるのかについて関心を高めようとしている。	定期考査	定期考査 観察 課題レポート	課題レポート

※令和４年度以降入学生用

	国際政治のしくみと役割 ・ 国際政治の現状と課題	①国際政治の成り立ち ②国際連合の設立とその役割 ③冷戦とその終焉 ④軍縮と安全保障 ⑤リージョナリズム ⑥グローバル化と国家 ①現代の紛争 ②多文化・多民族社会に向けて ③移民と難民 ④日本の戦後外交と課題	a: 戦争防止のために人類が勢力均衡政策と集団安全保障という二つの方法を取ってきたことを理解している。現代において国際連合が果たしている役割について理解すると同時に、国連の限界や問題点についても理解している。国内法と国際法を比較し、国際法が置かれている現状について理解している。 b: イデオロギーの対立、領土問題、民族紛争、宗教対立など、世界のさまざまな紛争について、それらの平和的解決に向けてどのような方法がありうるのかを広い視点に立って考察している。 c: 冷戦時代や冷戦後の国際政治について、具体的な事件および紛争に関心を持ち、またその原因についても意欲的に理解しようとしている。現在、世界で起きているさまざまな出来事についても関心をもっている。	定期考査	定期考査 観察	観察 課題レポート
後期後半	第1編　公共の扉をひらく	・日本の思想 ・近代、現代の西洋思想 ・生命倫理、環境倫理	a: 日本の精神的特性、近現代の思想家の求めたこと、現代における正義、公正などの意味を理解し、その知識を身に付けている。 b: 略伝や図版を活用して，思想家の人生をたどりながら様々な思想内容について発表できる。 c:これからの自分の生き方やあり方について考える意欲を高め,今後の生き方について考えている。	定期考査	定期考査 観察 課題レポート	課題レポート

※令和４年度以降入学生用

	現代の経済活動・経済社会のしくみと役割・国際経済の現状と課題	①私たちと経済 ②仕事と社会 ③国民経済とGDP ①社会のしくみとしての市場 ②市場の機能 ③市場の限界 ④金融とそのはたらき ⑤財政とそのはたらき ⑥現代の企業 ⑦労働問題 ⑧社会保障の役割 ⑨少子高齢化と財政の維持可能性 ①国際取り引きと国際収支 ②自由経済とグローバル化 ③国際経済のこれから	a: 資本主義経済がどのように発展し、また発展に伴って生じたさまざまな弊害をどのように克服してきたか、その歴史的背景を理解している。市場の果たしている役割を認識すると同時に、政府もまた市場の失敗を補うために大きな役割を果たしていることを理解している。景気変動、経済成長、物価の動きなどを政策目標として財政・金融政策が実施されていることを理解している。資本主義社会における競争の意味とその限界について理解している。 b:政府が市場経済にどこまで介入すべきか、という視点から「大きな政府」「小さな政府」など、政府の経済政策のあり方について論理的に考察している。基礎理論を理解したうえで、中小企業問題、農業問題、労働問題、社会保障問題、環境問題などの諸課題について広い視点に立って考察し、意見を表明している。 c:三つの経済主体がどのように経済活動を営んでいるについて理解した上で、財政、金融、労働、社会保障などの問題に深い関心を持つ態度を身につけている。	定期考査	定期考査 観察	観察 課題レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度